

# みさき

67号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2022年2月10日発行



## 主な内容

こんなことが決まりました ②~③

11議員が町政を問う ⑧~⑯

1月臨時議会の報告 ⑰

ファシリテーション研修会 ⑱

大きく育て美咲の子ども 美咲の未来へジャンプジャンプ

美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

表紙関連記事19ページ

# は全額現金一括給付

補正予算7億3,625万円など16件の議案が議決されました。

## 子育て世帯への臨時特別給付金

子育て世帯の生活を支援するために一時金(0歳～18歳1人あたり10万円)を支給。  
〔臨時特別給付金 1億9,030万円〕



## 道路網の整備

集落間の道路および通行上危険な箇所の整備を行い、安全に通行できる道路網の整備を行う。  
〔道路新設改良費 2,301万円〕



## 請願・要望

選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書の提出を求める請願

新日本婦人の会津山支部

支部長 山本 宣子

紹介議員 藤井 智江

夫婦別姓制度は、子どもたちの福祉や社会の維持にとって極めて重要な「家族」や「戸籍」という制度を揺るがせてしまう懸念が生じることから、賛成少数で**不採択**とした。

新型コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策を求める請願

岡山県農民運動連合会

代表者 小林 一実

紹介議員 藤井 智江

請願の表題については採択に値するものであるが、一部内容について疑義があったため全会一致で**趣旨採択**とした。

商工業振興事業補助金(小規模事業者経営改善普及事業及び地域総合振興事業)の予算措置についての要望

久米郡商工会

会長 福島 一壽

新型コロナウイルス感染症の発生により、厳しい状況にある小規模事業者支援に向けて、引き続き予算措置が必要であり全会一致で**採択**とした。

## 議員発議

コロナ禍における農家の経営支援を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の影響による米価の急激な下落は、担い手の減少・農家の離農など地域経済や農村集落維持に深刻な状況をもたらすことが懸念される。農家の安定経営を図る農業対策を強く求める意見書を日本政府に対して送付した。

## 条例改正

美咲町課設置条例の一部改正

住民サービスの一層の向上を図るため、総合支所の2課を1課に統合する組織の機構改革を行うもの。

美咲町立学校設置条例の一部改正

美咲町立旭小学校と美咲町立旭中学校を統合し、令和5年4月に施設一体型義務教育学校美咲町立旭学園を開校するため。

美咲町消防団条例の一部改正

合併時からの著しい人口減少により、団員の確保が困難となっているため、消防団定員を「930人」から「810人」に見直すもの。

# 12月議会

でこんなことが  
決まりました

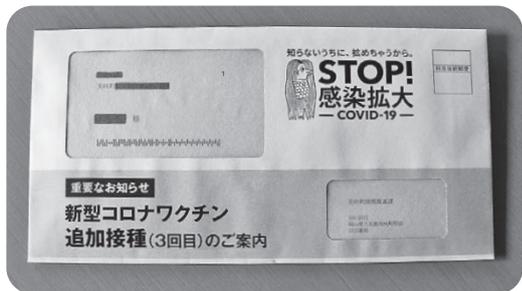
# 子育て世帯への給付金

令和3年11月29日～12月10日まで定例議会が招集され一般会計

## 3回目ワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的に3回目の新型コロナウイルスワクチン接種に向けての必要経費。

〔ワクチン接種事業 3,612万円〕



## ふるさと納税特産品贈呈事業

当初の見込みに比べ、寄付金額の増加が見込まれるため。

〔返礼品や事務的な必要経費 1,500万円〕



## 感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症予防策として抗原検査キットを整備する。

〔資材購入費 100万円〕



## 空き家を活用した移住・定住促進

美咲町の空き家活用と移住を促進する。事前相談を受けている件数が、予算額を上回っているため。

〔空き家の改修費用 390万円〕



○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	左居議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	形井議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	三船議員	矢吹議員	則吉議員	中西議員
請願第1号	選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書の提出を求める請願	議長	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×

### 【議案に対する討論】

<p>〔請願1号〕 選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書の提出を求める請願 (民生教育常任委員会の審査結果は、不採択)</p>	<p>【不採択に反対】 選択的夫婦別姓制度は今までどおり同じ姓がいいと思う人は同じ姓で、お互いに旧姓のまま夫婦が別の姓を希望するときは別の姓にすればいいわけで、選択肢ができるだけの話である。</p>	藤井議員
	<p>【不採択に賛成】 夫婦別姓制度は、家族の絆や一体感を危うくしてしまう恐れがあり、個人主義の追及や権利ばかりの主張が横行し、日本人の穏やかな気質や絆が崩壊しかねない。</p>	左居議員

意見の分かれた議案

# 委員会 の活動

## 総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／中西伶王、矢吹一郎、山本資、松田英二、松島啓の7人で審査しています。

### 【総務課】 地域振興課を新設

問 今回の条例改正は、総合支所の件であるが、今後の体制と目的は。

答 住民サービスの向上を図るため、総合支所の2課を、1課に統合するものである。新組織名は、地域振興課とする。

### 【理財課】 ふるさと納税の予算増額

問 発足当時は5万円であったが、現在1億円を超えそうだが、補正予算の用途は。

答 好評につき、年々寄付金が、上向きであり、返礼品の早期対応の為に、1,500万円の増額補正の計上。

### 【くらし安全課】 消防団定員を削減

問 定員削減の条例改正であるが、現在の団員数は。

答 人口減少により、団員の確保が困難であり定数930人から810人に削減する。現有団員785人である。



旭地域の土砂災害危険箇所を視察した。

町道大山本線に対して今後大規模な対策工事が予想されるが早期着工が望まれる。

### 【地域みらい課】 多世代交流拠点の進捗は

問 基本構想に沿って、順調に進んでいるのか。

答 昨今の建築資材高騰の影響により、厳しい計画になるが、他の大規模事業も含めて、何としても前に進めていきたい。

### 【建設課】 農地の災害を復旧

問 今回計上の災害復旧事業費の内訳はどうなっているか。

答 12月補正・農地補助17件、農道1件、施設1件、計19件。早急な復旧に努める。

### 【産業観光課】 事業者を支援する交付金

問 現在の申請状況と、予算執行額は。

答 申請済件数50件、予算1,540万円に対して、執行額830万円である。

# 民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／小林達夫 委員／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

## 【柵原住民福祉課】 鉱山鉱害防止の費用減額

**問** 休廃止鉱山鉱害防止補助金について、補正に72万円を減額する訳は。

**答** コロナ禍で柵原鉱山にかかる排水処理の経費が抑えられたため。今回特別交付税による補助金も減額となった。

## 【住民税務課】 ゴミ処理の負担金増加

**問** クリーンセンター負担金99万8,000円の増額補正の経緯は。

**答** クリーンセンターの可燃ごみ搬入量が増加し、場外搬出を余儀なくされたため。

## 【健康推進課】 コロナワクチン3回目接種

**問** コロナワクチン3回目接種・感染予防対策の補正予算額は。

**答** 3回目接種については3,612万9,000円を増額補正した。他、抗原検査キット整備のため100万円計上した。



(仮称) 柵原学園建設工事の現地視察を行い進捗状況を確認した。

現在、造成工事に着手しており令和4年12月まで行い、それ以降、校舎建設工事に入る予定。

## 【保険年金課】 出産育児一時金の改正

**問** 出産育児一時金の額の改正内容は。

**答** 産科医療補償制度未加入者に対しては4,000円の増額支給となった。

## 【福祉事務所】 子育て臨時給付金を支給

**問** 追加議案の子育て臨時給付金事業費1億9,030万円の内訳は。

**答** 出生予定を含め1,900人を見込み事業費1億9,000万円、事務費30万円の計上を予定している。

## 【教育総務課】 義務教育学校旭学園へ

**問** 美咲町立学校設置条例の一部を改正する経緯は。

**答** 条例の小学校・中学校の表記を義務教育学校とした。また、旭地域の義務教育学校の名称は旭学園に決定した。

# 委員会 の活動

## 義務教育学校特別委員会からの報告

義務教育学校特別委員会は、柵原地域および旭地域に建設する義務教育学校の創設に向けた取り組みに対する審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／中西伶王 ほか全議員を委員とする14人で審査しています。



10月1日に特別委員会を開催し、教育委員会が取り組んでいる美咲町立義務教育学校旭学園(仮称)および柵原学園(仮称)の進捗状況について審査を行った。

旭義務教育学校については、多くの応募の中から新学校名が美咲町立旭学園と決定した。

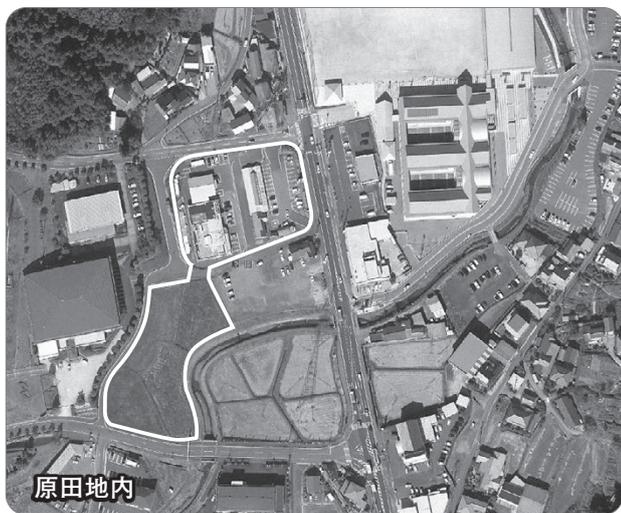
柵原地域義務教育学校については、学校敷地造成工事および関連する稗田川河川改修工事などについて審査を行った。

令和4年度中に工事が進む予定である。

## 多世代交流拠点特別委員会からの報告

多世代交流拠点特別委員会は、中央地域および旭地域に建設する多世代交流拠点の施設整備や運営方法についての審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／三船博之 ほか全議員を委員とする14人で審査しています。



11月1日、1月21日に特別委員会を開催し、多世代交流拠点整備事業の進捗状況について審査を行った。

コロナ禍による資材の価格高騰などにより第1回目の公募が不調に終わったことを受け公募事業者の範囲拡大、建物の事業内容変更などについて審査を行った。

義務教育学校建設、合併特例債との関係、公債費比率の上昇、工事価格の増加などについて活発な意見が出された。

最後に執行部、議会が力を合わせ、よりよい拠点づくりの建設に尽力することを確認した。

# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
8	延原 正憲	1. 美作岡山道路への積極的な対応を 2. 危険家屋除却の取り組みは
9	三船 博之	1. 振興計画と個別計画との整合性は 2. 各種団体への補助金の見直しは ◇ 町主要施策の点検は
10	則吉 洋介	1. 町の若者を増やすための政策は 2. 町振興作物への指導体制は
11	左居 喜次	1. 任期残り1年に向けた決意は 2. 美咲桃太郎で地域おこしを
12	矢吹 一郎	1. コロナ禍に伴う米価下落への対応は 2. 義務教育学校の感染対策は

ページ	議員名	質問内容
13	板垣 正寿	1. 太陽光パネル乱立をどう考える 2. 新学校で人口減少どう解決する ◇ 育児・介護の包括的支援体制の強化を
14	藤井 智江	1. 高齢者用補聴器購入に補助を 2. 高齢者施設での人権を守れ ◇ 町長の政治姿勢を問う
15	山本 宏治	1. どうかならぬか民家への鳥獣被害
	山本 資	1. 地域福祉・農業従事者への支援策は
16	中西 伶王	1. 子育て支援充実の政策は
	松田 英二	1. 若者定住促進住宅の整備が必要

議会だよりには、2問まで掲載  
しています。

質問の状況については、  
美咲町YouTubeチャンネルで  
確認していただけます。

美咲町指定天然記念物 安井の一本杉(推定樹齢350年)



延原正憲(のぶはら まさのり)議員

## 質問 美作岡山道路への積極的な対応を

### 答弁 体制を整えて対応していく



**問** 最後の区間が令和3年3月に国の補助事業に採択され、9月末には飯岡地区の内水対策および美作岡山道路計画の住民説明会が開催された。

11月からは用地測量・物件調査も開始されており、道路事業は着実に進んでいる。

① 専門職員の配置など町の協力体制は。  
 ② 道路事業に起因する地元課題への対応方針は。  
 ③ 柵原インターチェンジを活用した地域振興

**答** 策を具体化する方策は。青野町長

① まずは柵原総合支所に住民が気軽に相談できる窓口を設置し、遅滞なく体制を整え対応していきたい。

② 県へ伝達すべきもの、町として対応すべきもの、地域・自治会として対応すべきものを整理・区分して取り組んでいく。

③ インターチェンジを活用した周辺地区並びに柵原地域の町づくりの実現に向けて諸課題の整理や方針について協議・検討を始めた。



美作岡山道路の住民説明会

## 質問 危険家屋除却の取り組みは

### 答弁 本年度中に協議会に諮りたい

老朽危険家屋解体撤去費補助金交付実績表

年度	利用件数
平成25年度	1件
平成26年度	1件
平成27年度	1件
平成28年度	1件
平成29年度	1件
平成30年度	3件
令和元年度	1件
令和2年度	1件
令和3年度見込み	3件

**問**

老朽化して危険な家屋は、所有者の責任において適正に管理・除却されるべき個人の財産であるが、住民の安全・安心の観点から、除却を推進することは行政の課題でもある。

令和3年3月議会の一般質問で、除却推進の向きの対応策を検討する旨の答弁があった。

これらの検討状況と除却実績を確認したい。

① 美咲町空家等対策協議会における特定空家の認定状況は。

**答**

② 老朽危険家屋の解体撤去について町の補助制度の利用実績は。

③ 新たな補助制度の検討結果と導入予定は。

光嶋地域みらい課長

① 特定空家の対象は4件あるが、対策協議会で認定したものはまだない。

② 町の補助制度を利用した除却実績は別表のとおりで、交付金額を最高150万円に増額しているが、いまだ、利用件数は少ない。

③ 現在新制度を設計中であり、本年度中に開催予定の対策協議会に諮る予定である。



三船博之(みふね ひろゆき)議員



質問

答弁

# 振興計画と個別計画との整合性は振興計画に基づいて策定している

答

青野町長  
美咲町第三次振興計画の進捗状況をわかりやすく見直していくようにはならないか。

問

美咲町第三次振興計画には実施計画を策定せず、各分野の個別計画により施策・事業展開をしているとある。



地域活性化のために

答

光嶋地域みらい課長  
全てが一致する事は難しいが十分に調整して、この先も整合性を図って行く。

問

興計画は賢く収縮しながら持続可能なまちづくりを進めて行く上で最上位に位置づけられている計画である。個別計画・指針・ガイドライン・新規の計画などは第三次振興計画に基づいて策定している。

質問

## 各種団体への補助金の見直しは

答弁

目的・趣旨を再確認し見直していく

問

合併当時三百余あった援助団体・補助団体・支援団体への取り組みはどのようになっているのか。町自体が賢く収縮しようとしている現在、聖域を設けずに一歩踏み込んで一からの見直しを求める。

答

篠原理財課長  
イベントなどに多く使われていた補助金を地域運営に活用するよう、現在見直しを進めている。

問

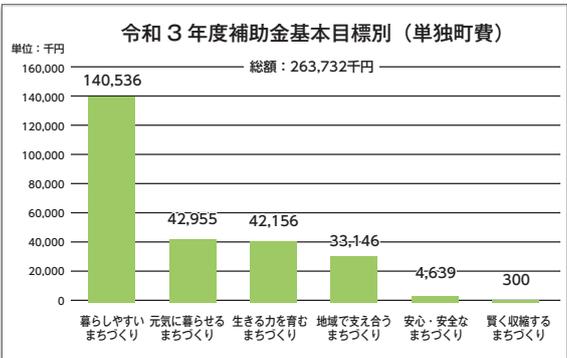
平賀生涯学習課長  
補助団体の活動状況の精査を行い、適正な補助金の交付による見直しをされているか。

答

忠政副町長  
補助団体の活性化が図られるように検討していく。

答

青野町長  
合併以来大きな見直しをされていなかった補助金の在り方について、行財政審議会などで団体を維持するための補助金であったはならないなどの指摘をいただき、住民満足度の高い行政サービスを持続的に提供するために、補助金本来の目的・趣旨を再確認し見直しを行っていく。





則吉洋介(のりよし ようすけ)議員

### 質問 町の若者を増やすための政策は

### 答弁 定住・子育て支援に取り組む



**問** 美咲町の人口減少率は県下ワーストであり人口減少に歯止めをかけるためどのような政策を取っているのか。

**答** ①若者の定住化に子育てする分譲地が必要であるがJR亀甲駅周辺、国道53号線沿いで分譲地計画は。

②柵原、旭地域の分譲地計画は。

③本町を教育の町として提唱し町内外へ発信してはどうか。

**答** 光嶋地域みらい課長 ①JR亀甲駅周辺の分譲地は本庁舎跡地活用の中で考えていく。



期待される新たな分譲地

国道53号線沿い、原田地区内の分譲地は16区画を予定している。

**答** 青野町長 ②若者定住、子育て支援に分譲地の整備は大変有効な取り組みのひとつである。

中央地域だけでなく柵原、旭地域においても、分譲地の整備計画を進めたい。

**答** 黒瀬教育長 ③町内すべての小・中学校を小中一貫教育校として教育委員会規則に定めている。

教育の町の提唱についても研究していきたいと考えている。

### 質問 町振興作物への指導体制は

### 答弁 高収益作物へ転換を推進する



**問** 本町では多くの農産物があるが、特にブドウの作付けは20町歩と聞いている。今後、町としてどのような指導をするのか。

**答** 青野町長 平成28年度に美咲ブドウセンターを建設し集出荷の拠点施設が完成している。

東京大田市場や銀座などへ本町産ブドウのPRを行っている。町が国、県と共にブドウ棚、ハウス整備の助成を行っていることも産地拡大へつながっていると考える。

本町は次なるブドウ



高収益の作物を求めて

の団地化を推進する候補地として県のネクスト産地づくり事業推進地区となっており、産地づくりのチャンスと捉え検討していく。

**答** 林田産業観光課長 ブドウの作付面積は全体で約45ヘクタールである。

指導体制としては、県と連携し新規就農者が栽培を学ぶ機会に濃農クラブを実施し、今年度は26名が受講している。

ブドウ以外の農作物にも多くの町振興作物があり、高収益作物への転換を推進していく。



左居喜次(さこ よしつぐ)議員



# 質問 任期残り1年に向けた決意は

## 答弁 総力戦で町の未来を切り開く

**問** 青野町長は、就任から3年を迎えるが、人口減少が進む中、少子高齢化への対応、地方交付税がピーク時に比べ10億円減る一方で手つかずだった行財政改革をはじめ、合併特例債の発行期限が迫る中、判断を迫られることになる新庁舎を含む町中心部の拠点整備など、多くの課題が山積する中での船出だったかと思う。

**答** 青野町長 長い停滞と混乱から脱し、今まさに新しいまちづくりが始まろうとしている。その成否が向こう10年、20年先の町の在り方を左右するという大きな責任を感じている。住民がこの町に住むことに幸せを感じ、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことこそ、私が目指す「ひと輝くまちなさき」の姿である。今後、人の力を引き出しながら、町民の皆様と総力戦で町の未来を切り開いていく。

### 青野町長7つの挑戦

1	義務教育学校仮称柵原学園の建設。
2	町中心部の多世代交流拠点施設の整備。
3	県北初となる義務教育学校旭学園の建設と、(旭地域の)多世代交流拠点施設の整備。
4	大きな事業が続く中、将来にわたって健全な財政を維持していくための行財政改革。
5	集落を維持していくための小規模多機能自治による地域づくり。
6	地域の課題解決と関係人口の拡大を目指し、DMOの推進。
7	持続可能なまちづくりの核となる組織をつくっていくための役場内の庁内改革。

### 質問

美咲桃太郎で地域おこしを

### 答弁

元気と活力を発信していく

**問** 打穴中・打穴下に伝えられている伝説「桃太郎」は、昭和3年発行の美保村誌に記述がある。

三大伝説地といわれている岡山、香川県鬼無、愛知県犬山市の「桃太郎」は、昭和5年に発表されたもので、美咲の「桃太郎」は、それより2年前に発表されており、日本一早いものである。

現在、地元有志を中心に鬼山を起点に取り組みをしているが、町として桃太郎伝説の伝承や観光事業に取り組み、地域活性化に活かせないか。

青野町長 町内では9月に美咲桃太郎の会が元祖

桃太郎ウォークとしてゆかりの地を巡る3kmのコースを案内し、多くの人が参加した。町外では、今年10月に、山梨県大月市において、日本桃太郎連合会の主催による「第18回桃太郎サミット2021 in 大月」が開催され、発信していく。

その全国サミットを来年美咲町で開催することとなり、応援したいと考えている。多くの人に美咲の元祖桃太郎伝説を知っていただき、観光とも連携をし、元気と活力を発信していく。



桃太郎参上！なるか地域おこし

# コロナ禍に伴う 米価下落への対応は

質問

答弁

## 国からの 経済対策交付金で対応する



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員



育てよう日本の農業

**問** 外食産業の自粛により、米の需要が減少し米価が大幅に下落し、生産農家の経営に著しい影響をおよぼしている。近隣の市町村では予備費を充当して対応している。本町の取り組みはどうなっているのか。

議会から、農家の経営支援を求める要望書を町長に提出し、回答はいただいているが、今後の具体的な内容と取り組みは、青野町長需要と供給のバランスが崩れ、令和三年産米の概算金は前年と比較して一俵あたり三千円から四千円の大幅な下落となっており、大変苦慮している。米の下落幅が大きく、単独町費のみで賄うことが難しく、国からの地方創生臨時交付金および経済対策交付金の動向があれば、本町においても米の価格下落に対しての給付を行う。国に対しても、長期にわたる安定的な米価の支援措置の要望を行う。

# 義務教育学校の感染症対策は

質問

## 室内環境の新システムを検討する

答弁

**問** 現在、新設義務教育学校の設計段階にあると思うが、感染症対策として新しい取り組みがあるか。

新築工事ならではの利点を活かし、熱交換器を取り入れた空調換気システムの導入を、提案したい。

教室の窓の開放なしでの換気が可能であり、室内の温度管理向上・ランニングコストの削減・室内の衛生環境の改善に効果があり、是非とも検討されてはどうか。

神坂教育総務課長 現在、詳細設計の段階であり、従来の検温機器などの設置に加えて、吹き抜けを利用した自然換気・水道の自動水栓・トイレなど、感知式照明・地中熱を利用したクールヒートレンチによる換気システムの導入を検討している。

災害時などにおける室内空調環境の改善に役立つものと考えている。イニシャルコストの抑制や将来的なランニングコストの削減、感染症の効果など、事業費全体の枠内で検討していく。



外の空気を室温に近づけ給気し、部屋の暖かい空気を逃さず排気。

新たな感染症対策の導入を



# 質問 太陽光パネル乱立をどう考える

## 答弁 独自にルールづくりを検討する

板垣正寿(いたがき まさとし)議員

**問** 太陽光パネルの設置が町内各所で進んでいる。省エネ、CO<sub>2</sub>削減、次世代エネルギーという観点から太陽光発電も必要であるが、美しい里山の景観保全も大事である。急傾斜地など、がけ崩れが危ぶまれる土地への設置には防災の観点からその抑止力が必要である。そのための条例制定はできないか。また、里山の景観を守るための指針や、町独自の再生可能エネルギーに対する今後の基本方針はあるか。

**答** 青野町長 土砂災害が危ぶまれる区域で設置する場合には事前に県知事への届出が必要とされており防災面では一定の抑止が図られている。独自にルールづくりを検討し、他自治体の条例を参考にしながら研究する。景観保全については開発業者の地元説明会を求めるなど研究する。太陽光発電開発は生態系が保全されることが前提であると認識している。現在、再生可能エネルギー導入を調査し検討している。



SDGs世界が掲げる開発目標

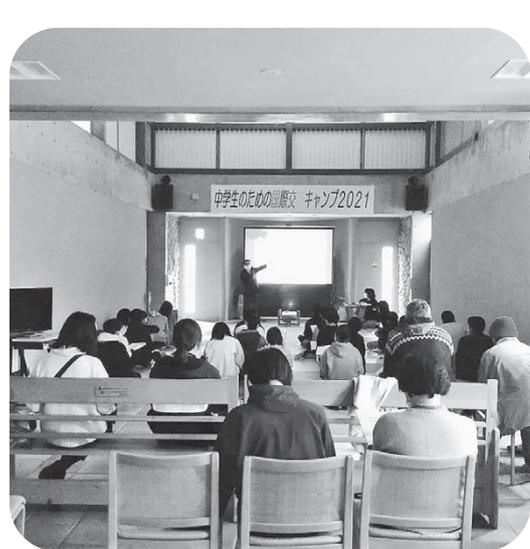
### 質問

新学校で人口減少どう解決する

### 答弁

学校を核とした  
地域づくりを進める

**問** 何十億円をかけて義務教育学校を設立するならば、その中身が重要である。特に旭地域に関しては人口減少が著しい。人口減少に歯止めをかけるためにはより良い学校をつくり、こんな学校に行きたいと思えるような未来志向の教育環境が必要である。新しい教育をどう考えているか。



学校に新しい教育を

**答** 黒瀬教育長 義務教育学校の目的の一つは、学校を核とした地域づくりである。特に旭地域では生き残りかけた学校づくりとして、地域課題解決型学習やキャリア教育、郷土教育など地域と学校が連携した活動を展開している。学区外通学はそれなりの理由があれば住所払いの理由がなければ難しい。オンラインでの出席変更しなくても転校が可能である。学校選択制度はまだ法的に整備されていないので住所変更が原則である。



藤井智江(ふじい ともえ)議員

**質問** 高齢者用補聴器購入に補助を

**答弁** 補助制度は今後の検討課題



**問** 高齢者の難聴は認知症の発症に大きく影響していると多くの専門家が指摘している。

デジタル化が進み、使い便利が良くなっているが、高額で年金暮らしでは購入が困難である。

加齢用補聴器購入時に補助制度の創設は考えられないか。

**答** 山崎保険年金課長 加齢による難聴者に対する助成金制度は現在ないが、全国では国に対し公的な補助制度の要請や独自で補助制度を設けている自治体もあるが、補助金

制度は今後の検討課題である。

**問** 瀬戸内市、備前市では非課税世帯の人を対象に5万円の補助制度がある。

国や県に対し補助制度の創設を強く要請してほしい。

介護保険の予防事業の一環として考えられないか。

**答** 山崎保険年金課長 国や県への要望は、近隣自治体の取り組み、動向を注視し、検討、研究をする。補聴器は、介護保険制度の対象になっていない。



認知症の予防には補聴器の活用を

**質問** 高齢者施設での人権を守れ

**答弁** 適切な対応に努めている



**問** 老人ホームなど介護施設は家族の面会ができず、県内でも一部の介護施設で職員による入所者への虐待が報道された。

美咲町は保険者として十分責務を果たしているか。

- ①施設の指導は適切か。
- ②家族などから施設への指導要請はないか。
- ③苦情・要請にどう対処するか。

**答** 山崎保険年金課長 ①町内21事業者の实地指導は3年毎を目安に面談方式で実施している。

②家族からの指導要請

はない。

③事業所へ調査協力要請を行い事実確認する。

県へ報告・連絡をする虐待が疑われるときは監査へ切り替え、立ち入り調査をする。

**問** 他の市町村の施設は、その市町村が指導することは承知しているが保険者として、町民の安心安全のため責任の一端を担い高齢者の人権を守るべきではないか。

**答** 山崎保険年金課長 他の自治体の事例については答える立場にない。



山本宏治(やまもと こうじ)議員



質問

どうにかならぬか

民家への鳥獣被害

答弁

小規模多機能自治の  
取り組みの中で協議を

**問** 田畑では、補助制度で鳥獣対策ができていますが、現状では高齢者世帯の民家にも鳥獣被害が危惧される。民家には補助制度が難しいと思うが一人住まいの高齢女性など対応ができないと思われる。

**答** 農作物被害への補助制度は活用できるが、個人家屋内についての補助制度は現状ではない。しかし高齢者一人世帯が40%を超えており、今後は地域活動の小規模多機能自治の中で、地域を守る解決策として地域活動交付金制度は必要と考える。調査、研究をしていきたい。

**答** 青野町長 農作物被害への補助制度は活用できるが、個人家屋内についての補助制度は現状ではない。しかし高齢者一人世帯が40%を超えており、今後は地域活動の小規模多機能自治の中で、地域を守る解決策として地域活動交付金制度は必要と考える。調査、研究をしていきたい。

**答** 林田産業観光課長 鳥獣対策の農作物被害に対する防護柵の執行額は、国、町で約1,400万円で捕獲数は1,927頭となっている。町内各地で鳥獣被害アドバイザーが講習会を開催しており、地域での啓発活動をお願いしたい。



民家にまで迫る鳥獣被害

質問

地域福祉・農業従事者への

支援策は

答弁

ひとり一人にあった支援を  
検討する



山本 資(やまもと たすく)議員



**問** 少子高齢化が進む中、地域の福祉について、どのような取り組みを行っているのか。

**答** 牧野福祉事務所長 緊急通報装置およびマグネットシート事業について各自治会長、民生委員の協力により、小地域ケア会議や地域の集まりなどで検討いただき、安心・安全な地域で自分らしく生活できるよう取り組むことを考えている。



地域福祉の充実を求めて

**答** 青野町長 福祉支援を必要とされるひとり一人にあった支援策を検討し、農地の荒廃化問題は、関係機関と検討していく。

**答** 林田産業観光課長 荒廃農地の発生防止と解消の取り組みは、国、県の事業があれば活用し、農地保全政策について関係機関などを含め検討する。

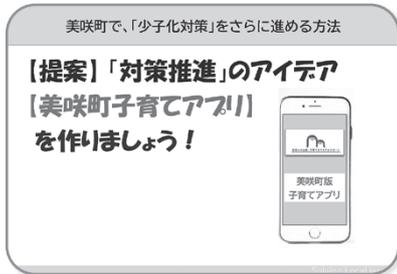


中西 伶王(なかにし れお) 議員



## 質問 子育て支援充実の政策は

### 答弁 よりよい支援策を検討する



本当にアップデートは必要か

**問** 地域課題解決プロジェクトの進捗状況は

**答** 宇佐見政策推進監 職員メンバーと様々な議論の結果、子育てアプリの自主開発ということになった。子育てアプリの利点は何かというと、いわゆる24時間、親子、それから役場と結びつくことができるという形で、不安を今よりも少なくできる。

仮想空間のスマホから、支援センターといったリアルな場につなげていき、集う場の重要性を見いだすことができるだろう。

職員メンバーとアプリを一つの解決策として行っていくきたい。

**問** 既存の子育てアプリをアップデートするのではなく「美咲町公式アプリ」をつくり、子育て情報だけでなくさまざまな分野で住民に利用してもらえるアプリを開発することは可能か。

**答** 宇佐見政策推進監 現状、母子モとうさぎメールといった二つも似たようなものがあり、母子モ自体は全国統一のものなので、近隣の市町村でも同じものを使用しているとか、情報が一方通行になりがちといった問題点がある。将来的には本町の総合アプリも検討していきたい。

## 質問 若者定住促進住宅の整備が必要

### 答弁 住宅の在り方を総合的に検討する



松田 英二(まつだ えいじ) 議員



こんな住宅なら住みたいな(奈義町若者定住促進住宅)

**問** 昨年実施された国勢調査確定値によると本町の人口減少率のマイナス幅は県下最大となっている。奈義町や久米南町では、若者定住を目的とした公営住宅を建設して一定の効果が出ているようだ。

**答** 青野町長 現時点で公営住宅を建て替えるという計画は考えていない。公営住宅の維持管理には多額の費用が必要

となるため、現状では民間の活用を基本として行きたいというのが町としての方針である。近年では若者定

**問** 住の即戦力として民間活力を利用して戦略的に住宅を設置する自治体が増加している。そのためには、公共用地の提供や民間活力助成金の創設などを検討する必要がある。

**答** 青野町長 住宅に関してさまざまな助成の検討が必要であり、町独自の補助制度も含めて総合的に在り方を考えていく。

1月臨時議会でこんなことが決まりました

# 非課税世帯に一世帯10万円の給付金を支給

## 非課税世帯に10万円を支給

国の政策により住民税非課税の世帯に対して10万円の給付金を支給する。

〔社会福祉総務費 2億4,924万円〕



## 米価下落に対する支援金

令和3年産米の大幅下落に対して農家の経営を支援する。

〔農業振興費 7,000万円〕



## 美咲中央小にエアコン設置

美咲中央小学校の特別教室にエアコンを設置して感染症予防の対策を図る。

〔小学校管理費 800万円〕



## 旭保育園の受水槽を修繕

旭保育園の老朽化した受水槽を修繕して水環境を整える事で手洗いなど感染症予防を図る。

〔児童福祉施設費 1,100万円〕



## 柵原文化センターを改修

災害時避難場所として機能できるように柵原文化センターの屋根・空調・電気などの改修を行う。

〔公民館費 1,120万円〕



## コロナ対策の備品などを配置

町内の保育園・小学校・中学校にコロナ対策のための備品・消耗品などを配置する。

〔教育総務費 1,210万円〕





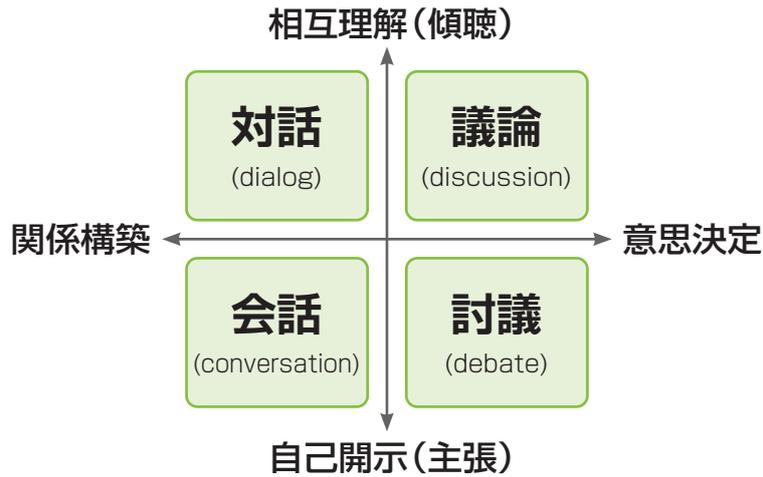
10月27日に九州大学大学院加留部貴行准教授を講師にお迎えしてファシリテーションを勉強する議員研修会を実施しました。

### ファシリテーションとは

会議やミーティングにおける発言や参加を促し、話の流れを整理しながら円滑に進める技法

### ファシリテーターとは

ファシリテーションを行う上で効率的かつスムーズな会議を実現する進行役のこと



# 式典参加

## 美咲町成人式が開催されました

1月9日に美咲町成人式が厳粛に開催されました。

今年の新成人は、平成13年4月2日～平成14年4月1日の間に生まれた138人で、男性68人・女性70人が対象となり、このうち110人の出席となりました。

華やかにそして逞しく成長した新成人に対して町長・議長よりそれぞれ饒の言葉が贈られ、成人式実行委員長はなむけの藪木莉野さんから成人を代表しての謝辞が述べられました。



## 海の町岬町と山の町美咲町 両町議会の交流を深めて町の発展を目指す

美咲町は令和2年11月に大阪府岬町と友好交流都市協定を締結しています。

この程、協定締結1周年を迎える事となった11月3日に岬町議会を訪問して議員交流会を開催しました。

海の町と山の町。全く異なる町の状況の中、お互いの共通点を探るよりも違いを認め合っ  
てそれぞれの良い所を学び合える交流が今後も展開できることを期待し、来春には岬町議会の来  
町が約束されました。



### 表紙の紹介

風にも負けず、寒さにも負けずに飛び跳ねる子どもたちに元気をわけてもらいました。



### 災害ボランティア養成講座

12月26日(日)に美咲町災害ボランティア養成講座が開催されました。

今回の講座では、いつ起こるか分からない災害に立ち向かうためには地域の繋がりを大切にしながら支え合えるボランティア精神の重要性を再認識しました。



### 令和4年3月定例会の予定

令和4年3月に予定されている美咲町議会定例会は

- ◆2月28日(月)開会～3月18日(金)閉会の19日間
- ◆一般質問は3月1日(火)～3月2日(水)の2日間
- ◆予算特別委員会は3月10日(木)～3月15日(火)の4日間

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



町民の皆さんこんにちは

放課後子ども教室  
第2回

一緒に学び考える



美咲町では放課後子ども教室(子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、学習や体験・交流活動などを行う事業)が町内7教室開設されており、その中の6教室は「寺子屋」として委託団体が運営しています。

### ●どんな活動ですか●

生徒の放課後支援を通して主体的に学習できる体制づくりとして、放課後の時間を利用し生徒が自主的に宿題や自らの課題に取り組む活動です。

また、地域の大人たちが学習活動のサポートに参加して子どもたちの活動を支えています。

### ●どこで活動していますか●

毎週水曜日・金曜日(祝日・学校休業日は休室)の15時30分～18時30分までの間、中央総合体育館1階会議室で活動しています。

特に中学生には定期テスト前に集中講座を開催しテストに備えています。

### ●参加対象はだれですか●

中央中学校の生徒が対象です。

### ●具体的な活動内容は何か●

宿題、学習ドリルなど生徒が個々の目標(学習カードに記入)を毎回決めて、教科学習に取り組んでいます。

### ●活動で大切にしていることは何か●

子どもと大人が「一緒に考える」、子ども自身が「やりきる」を基本とし、児童・生徒が自ら教科学習などに取り組む姿勢を大切にしています。

### ●どんなところが特徴ですか●

少人数で家庭的な雰囲気での学習ができているところです。

### ●運営は誰が行っていますか●

みさきスタイルこども応援事業運営委員会(美咲町教育委員会生涯学習課)から委託を受けたNPO法人ファミリーリングあゆむが運営しています。

問い合わせは飯田純子(090-1181-9610)までお願いします。

# 寺子屋ちゅうおう

子どもたちの学力は確実にアップしています。

編集  
後記

美咲町議会では、高度な識見を有する大学と

の人材交流により、地域課題解決を図り、このほど、美作大学・美作大学短期大学部と「SDGsパートナーシップ包括協定」を結びました。

設立以来「地域立」を掲げ実際に地域に入る教育を実践する美作大学の多様な意見を集約し、二元代表制の一翼として美咲町の意思決定を行う町議会が相互に連携協力を進め、地域社会における政策課題への適切な対処および地域の持続可能な発展に資することを目的とするものです。今後、住み良い町の実現を目指してまいります。議会活動にご注目ください。

(左居記)

議会広報特別委員会

委員長 三船 博之

副委員長 松田 英二

中西 伶王

矢吹 一郎

板垣 正寿

左居 喜次